

ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP 2018

第18回全日本チアダンス選手権大会・第16回全日本学生チアダンス選手権大会

競技規定



目次

01. 参加資格・編成（年齢）
02. 実施部門・人数
03. 演技内容
04. 各ダンスカテゴリー説明
05. 競技エリア
06. 競技時間
07. 音楽
08. 衣装
09. 手具
10. 安全規定
11. 競技の中断
12. 演技内容申請について（Cheer Dance 部門のみ申請）
13. 得点・順位に関して
14. 予選通過に関して
15. 入賞・表彰に関して
16. トライアル部門に関して

01. 参加資格・編成（年令）

2018 年 4 月 2 日の時点で下記のメンバーで編成したチームであること

- Mini 編成：メンバーが小学 4 年生以下で編成したチーム
- Youth 編成：メンバーが小学 6 年生以下で編成したチーム
- 中学生編成：同一の学校に在籍している中学生で編成したチーム
もしくはメンバーが中学生以下で編成したチーム
- 高校生編成：同一の学校に在籍している高校生で編成したチーム
もしくはメンバーが高校生以下で編成したチーム
- 大学生編成：同一の学校に在籍している大学生(大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の第 4,5 学年)で編成したチーム
もしくはメンバーが大学生以下で編成したチーム
- 一般編成：上記以外で編成したチーム

(2019 年からの変更事項)

- ・来年度より高校生編成、大学生編成、一般編成の参加資格・編成（年令）が変更になります。
- ・各編成において年令及び学年の下限を設けますので予めご了承ください。

改定後： 高校生編成《中学生以上》/大学生編成《高校生以上》/一般編成《14 歳以上で編成したチーム》

02. 実施部門・人数

- Pom 部門 【Mini 編成・Youth 編成・中学生編成】（Small 5 名～9 名 / Medium 10 名～14 名 / Large 15 名～）
【高校生編成】（Small 5 名～10 名 / Medium 11 名～17 名 / Large 18 名～）
【大学生編成・一般編成】（5 名～）
- Cheer Dance 部門 【Mini 編成・Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】（5 名～）
- Hip Hop 部門 【Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】（5 名～）
- Jazz 部門 【Youth 編成・中学生編成・高校生編成・大学生編成・一般編成】（5 名～）
- トライアル部門 【全編成】※各予選大会にて実施
 - 人数は 5 名以上で編成すること（人数の上限無し、30 名以上のエントリー可）
 - 5 名未満でのエントリー不可
 - エントリー後、万が一怪我などの理由で人数が 5 名未満になった場合、予選・決勝共に出場可能だが 1 名につき 2 点の減点となる
 - 年令混合チームに関しては、割合に関わらず最年長者が所属する編成でのエントリーとなる
例：小学生と中学生の混合チーム→【中学生編成】にエントリー
 - 予選、決勝共にエントリーチーム数によっては異なる部門、編成を一つにまとめることがある
例) Hip Hop 部門 Youth 編成と Jazz 部門 Youth 編成
例) Hip Hop 部門 Youth 編成と Hip Hop 部門中学生編成
 - 部門の統合は全チームのエントリー終了後(7/6以降)HPにて発表する
- 重複エントリーに関して
 - 同一選手が重複エントリーする場合は、2 チームまで可
 - 同一選手が重複エントリーする際、トライアル部門を含む場合は 3 チームまで可
例) Pom 部門 / 高校生 Small 編成と Jazz 部門 / 高校生編成とトライアル部門 Cheer Dance / 高校生編成の重複エントリー可
 - 同一選手は同部門の他編成（年齢による区分けのみ）で重複エントリーすることは可
例) Pom 部門 / Mini Small 編成と Pom 部門 / Youth Small 編成のエントリー可
例) Pom 部門 / Mini Small 編成と Pom 部門 / Mini Large 編成のエントリーは不可
 - 同チームで複数の部門に出場する場合は、それぞれエントリーすること
例) Pom 部門と Cheer Dance 部門にエントリーする際は、エントリーフォームを 2 回送信

● 補欠について

- 補欠選手の申請は専用ページから申請
- 補欠選手は2名まで申請可
 - * 補欠選手はあくまで大会出場選手が怪我などのやむを得ない時の交代として登録してください
- 予選、決勝ともに補欠選手が出場することにより、登録選手数を増やすことは不可
例) 出場選手登録10名、補欠選手登録2名を行った場合、12名で演技することはできません
- 決勝エントリーは予選大会において出場選手及び補欠選手に登録した者のみ登録可

03. 演技内容

- 全部門、家族が観る大会に相応しい演技内容（振り付け、音楽、衣装）を考慮し、構成すること
- 競技者の年齢を考慮し、各年齢に見合った演技内容で構成すること
- 詳細は別途部門毎に定めた「演技規定」を確認すること（協会HPよりダウンロード可）

04. 各ダンスカテゴリー説明

● Pom

クリーンでタイトなストレートモーションを中心としたダンス

正確なアームモーション、ダンス技術、テクニカルスキルの実施が求められ、チームの一体感、同調性、均一性を重視される

アームモーションのバリエーションや視覚的効果(フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化)を取り入れた創造性溢れる振付構成が求められる

● Hip Hop

ストリートスタイル（Hip Hop・Funk・Locking など）の動きとリズムを取り入れたダンス

正確なダンス技術、ボディアイソレーション、ボディコントロール、ステップワークの実施が求められ、チームの一体感、同調性、均一性が重視される

視覚的効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化）を取り入れ、音楽を生かしたダイナミックで創造性溢れる振付構成が求められる

● Jazz

バレエを基礎とするしなやかで流れるような動きを中心としたダンス

身体の引き上げのある伸びやかな表現、正確なダンス技術、ボディコントロール、バランス、テクニカルスキルの実施が求められ、チームの一体感、同調性、均一性が重視される

視覚的効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化)を取り入れた創造性のある振付構成、独創性のある音楽の解釈、感情を伝える表現力が求められる

● Line Dance

肩を組むまたは腰に手を添えるなど選手がつながって行うキックのコンビネーション

美しいライン（隊列）、正しい姿勢、正確なキックの実施、キックのバリエーションが求められ、チームの一体感、同調性、均一性が重視される

横1列もしくは前後2列のライン（隊列）を組み、選手が16カウント以上つながり、少なくとも4本以上のキックを行うこと

05. 競技エリア

- 原則として横20m × 奥行15mとし、フロアには縦と横にセンターラインが引かれる
- 演技は競技エリア内で行い、途中入退場は不可（全選手が競技エリア内で静止した状態から開始、終了すること）
- 選手以外が競技エリアへ立ち入ることは不可

06. 競技時間

- **【Mini 編成】 Pom 部門 1分45秒～2分00秒以内 / Cheer Dance 部門 2分00秒～2分30秒以内**
- **【Youth 編成】 Pom 部門・Jazz 部門・Hip Hop 部門 1分45秒～2分00秒以内 / Cheer Dance 部門 2分00秒～2分30秒以内**
- **【中学生編成】【高校生編成】【大学生編成】【一般編成】 全部門 2分00秒～2分30秒以内**
<違反の場合は2点減点>
- トライアル部門は構成する部門編成の競技時間に準ずる
- 競技時間の測定のタイミングは音楽又は動きの始まりから音楽又は動きの終わりまでとする
- 入退場の時間は競技時間に含まないが合わせて30秒以内に速やかに行うこと
- ±5秒の誤差は減点対象とならない（但し演技は必ず競技時間規定内で作成すること）

07. 音楽

- 演技に使用する音楽は家族が観る大会に相応しく歌詞の内容にも注意すること
- 音楽に関して減点が行われないが、審査員の判断のもとスコアシートの点数に反映される
- 演技が無音（音の無い状態）で行われる場合は音源にも無音の状態を入れて作成すること
- 音楽に関しては事前に使用曲申請書（全部門） / 演技内容構成表（Cheer Dance 部門のみ）を提出すること

08. 衣装

- 全部門衣装は原則的に自由とするが、競技者の年齢や演技の内容に見合ったものが望ましい
- 競技者としての品位（清潔感、メイク髪型などの身だしなみ、着用の仕方）を損なうものは避け、家族が観る大会に相応しい衣装を正しく着用すること
- 衣装に関しての減点が行われないが、審査員の判断のもとスコアシートの点数に反映される
- 競技中に外れる、また体を傷付ける恐れのあるアクセサリーの着用禁止（指輪・ピアス・ブレスレット・ネックレス・ボディピアスなどはテープや他の方法で覆い隠して着用することも禁止）
- アクセサリーは外れたり体を傷付ける恐れのないよう充分に考慮されたもの（チョーカーやヘアアクセサリなど）のみ衣装の一部として着用可 <違反の場合は2点減点>
- シューズは各部門の演技内容及び衣装に見合ったシューズを着用することが望ましい
- シューズの着用にあたっては摩擦や怪我の防止など安全面を充分考慮すること
- 靴下のみを着用や床を傷付ける靴（ヒールのあるもの）の着用は禁止 <違反の場合は2点減点>

09. 手具

- 手具は振りを効果的に見せるため、振付の一部として使用することが出来る
- 手具は基本手に持つタイプのもの（ハットや衣装の一部を取り外して使用するなど）を可とする
- 演技中にフロアや体を傷付ける恐れのあるもの、大道具としての役割を持つものは不可（傘、椅子、選手を覆う布など不可）
- 演技の途中で手具を使用する場合は競技エリア内に準備すること（使用の終わった手具が競技エリアの外に出ても良いが、外に出た手具を再び使用することは出来ない）
- 部門毎に内容が異なるため、詳細は「演技規定」（協会 HP よりダウンロード可）を確認すること

10. 安全規定

- 全ての演技は選手の年齢やスキルを考慮した上で作られ、安全で怪我の無いよう充分に注意すること
- 部門や編成毎に安全規定の内容が異なるため、詳細は「演技規定」（協会 HP よりダウンロード可）を確認すること
- 不明な点は遅くとも出場する大会の1週間前までに協会事務局に問い合わせること(大会直前のお問い合わせにはご対応が出来ない事もありますので余裕を持ってご確認ください)
- 演技内容に関する問い合わせは、質問の回答を受けるチーム代表者連絡先（メールアドレス及び日中連絡の取れる電話番号）を明記の上、動きを録画したDVDを協会事務局宛に郵送 ※ブルーレイ不可

11. 競技の中断

- 選手の怪我や音楽の不備などにより審査員が競技の続行が危険、もしくは不可能と判断した場合、競技を中断させることがある
- 競技の再開や再演技のタイミングはチームに確認のうえ、審査員の判断により行われる
- 競技の再開は演技の最初から1曲通して行われるが、審査は中断された以降を対象とし、それまでの審査及び減点は再演技前のものが反映される

12. 演技構成表の提出について（Cheer Dance 部門のみ）

- 審査員がカテゴリーを正確にジャッジするために、事前に演技内容構成表を提出するものとする
- カテゴリーごとに演技構成の順を追って、演技秒数を記入すること
記入例：Pom 40 秒⇒Line20 秒⇒Hip Hop30 秒⇒Jazz45 秒 《Total2 分 15 秒》
- 演技構成上、無音（音の無い状態）で演技を行う場合はその秒数も含めること
- Total Time は必ず競技時間規定の2分～2分30秒以内とすること
例：1分58秒や2分32秒での提出は不可

13. 得点・順位に関して

- チームの総合得点は100点を満点とし、総合得点の算出方法は以下の通りとする
 - 1.) 各審査員がそれぞれ100点満点で採点
 - 2.) チームの合計点を審査員の数で割った平均点を算出
 - 3.) 平均点より違反による減点を引いたものをチームの総合得点とする
- 順位は各部門とも高得点順とし、同得点の場合は同順位としてそれ以降の順位は繰り下げとする
- 予選大会の審査は3名で行う
- 決勝大会の審査は6名で行い、最高点・最低点を除いた4名の審査員の得点がチームの総合得点に反映される

14. 予選通過に関して

- エントリー終了後、予選大会毎に事前に予選通過枠数を定める（通過枠数の発表は7月末頃を予定）
- 全予選通過チームは以下の通過基準点を満たしているものとする
【Mini 編成】【Youth 編成】全部門 **70 点以上**
【中学生編成】Hip Hop 部門・Jazz 部門 **70 点以上** / Pom 部門・Cheer Dance 部門 **75 点以上**
【高校生編成】【大学生編成】【一般編成】 全部門 **75 点以上**
- 通過枠数内で同順位の場合は両チームを通過とする（それによりそれ以降の予選の通過枠数が減少することはない）
- 各予選大会において通過枠数とは別に通過基準点に達したチームに審査員推薦を設けることがある
- 全予選大会終了後に事前に発表した通過枠に満たない部門があった場合は、通過基準点に達している部門次点チームを繰り上げて通過とする（繰り上げの通過がある場合は全予選大会終了次第 HP にて発表）

15. 入賞・表彰に関して

- 予選大会においては各部門上位チームに入賞及び特別賞を授与する
- 決勝大会においては【Mini 編成／Youth 編成／中学生編成】 及び 【高校生編成／大学生編成／一般編成】において、それぞれ入賞と共に各特別賞を授与する
- 【Mini 編成／Youth 編成／中学生編成】の中で最高得点を獲得した最優秀チームに JCDA 賞を授与する（最優秀チームが同点の場合、決勝審査員の全ての得点を反映し決定するが、そこでも同点の場合はジャッジミーティングにより決定する）
- 【高校生編成／大学生編成／一般編成】の各部門優勝チームの中からジャッジによりグランプリを決定する
- 入賞、特別賞の詳細は、全エントリー終了後に協会 HP にて発表する

16. トライアル部門に関して

- トライアル部門のエントリーは各予選大会に限る
- 過去の大会参加（競技部門・トライアル部門ともに）に関わらず、全チームエントリー可
- 演技内容は各競技部門の規定に沿った演技内容で構成すること（競技時間も含む）
- 競技部門に無い編成でのエントリーも可、但し演技は競技部門の規定に沿った内容で行い、安全面にも充分に考慮すること
例）Jazz 部門 Mini 編成／Hip Hop 部門 Mini 編成
- 入賞表彰は行われませんが、チームには審査員による演技評価コメントシートが渡される